

二 總同盟十四年

臨時大會の決議
我等は次の如き立場に立つて無産政黨を組織せねばなら

(一)

無産政黨の組織は我々無産階級の現在の實力に
相應したるものでなければならぬ。即ち最初から完全
なる黨組織を望むが如きは不可能であつて我等の
現任に於ては現任階級の力を借り新次に之が完成
を期すべし。

(二)

無産階級の組織は我々無産階級の現在の階級的自
覺に相應したるものでなければならぬ。即ち最初から
の指導階級を無産階級の土壌を確守して無産政黨準備行動に
参加せねばならぬ。

(三)

我々は我々の土壌を確守して無産政黨準備行動に
参加せねばならぬ。即ち最初から完全なる黨組織を望む
が如きは不可能であつて我等の現任に於ては現任階級の
力を借り新次に之が完成を期すべし。

三 無産政黨準備委員会

無産政黨準備委員会は十月十八日十九日

十日の三日間大阪中央公会堂に開催細規規約の討議に於
て官業總同盟の例の意見に譲歩し第一回の險悪なる難
問を切り抜けるに至つたのである。(勞働十一月號十四頁参照)

四 政治研究會

政治研究會並無産青年同盟の
加入問題と總同盟の脱退！
然るに其の後政治研究會並に無産青年同盟の加入問題
が重大なる暗礁となつて十一月二十九日に於て此たる第
一回規約の領通委員会に於て勞働總同盟は無産政黨組織
準備委員会より脱退を聲明するに至つた。其の理由は左の
如くである。

無産政黨準備委員会
脱退に關する報告書